

モロッコ国教育分野におけるジェンダー関連情報

1. ジェンダー関連政策・制度

<ジェンダー政策および制度>

- 2006年、モロッコ政府は、「国家ジェンダー戦略」(National Strategy for Gender Equity and Equality)を策定した。基本的権利、機会や資源へのアクセス、及び高官を含む公的領域への参画における男女間の不平等の削減を主目的として掲げ、次の分野におけるジェンダー主流化を目指している：1) 市民権；2) 意思決定における代表性及び参画；3) 社会的経済的権利；4) 社会及び個人の態度；5) 組織及び政治における統合。2007年の国際女性の日には、バングラデシュ首相が同戦略の重要性を確認の上、省庁やガバナーにすべての政策及びセクター／地域開発プログラムにおけるジェンダー主流化を進めていくことを指示した。(出典2)
- 2002年以降、モロッコの財務省はUNIFEMの技術支援及びベルギー政府の財政支援のもと、Gender-Responsive Budgeting (GRB) イニシアティブを開始し、財務省内での能力及びオーナーシップの強化を図ってきた。2007年、モロッコ首相が予算に係る回状を発出し、各省庁に、予算の成果指標及び予算編成プロセスの中にジェンダー指標を取り入れ、特に歳出統制メカニズム、業務監査及び予算情報システムにおけるジェンダー指標を特定することを指示した。(出典3)
- 2011年、モロッコ政府はGovernmental Agenda for Equality (2011-2015)を採択した。同アジェンダでは、次の9つの優先課題を示している：1) ジェンダー平等に係る組織の統合；2) 資格となる質の高い教育システムにおける男子・女子の公平かつ平等なアクセス；3) 保健サービスへの女子、女性、男子、男性の公平かつ平等なアクセス；4) 基礎インフラへの女子、女性、男子、男性の公平かつ平等なアクセス；5) 市民権及び差別・女性に対する暴力への闘いにおける、女子、女性、男子、男性の公平かつ平等なアクセス；6) 意思決定及び行政における職位に係る公平かつ平等なアクセス；7) 労働市場におけるジェンダーに基づく不平等是正への取り組み；8) 女子及び女性が直面する、多様な形態の脆弱性及び貧困撲滅への取り組み；9) 教育、文化及びメディアにおける性的先入観に対抗する取り組み。(出典2)

出典

1. JICA (2007) “Morocco: Country Gender Profile”,
[http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/facbb3f561228faf49257afe0009dfa8/\\$FILE/ATT1T96S.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf](http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/facbb3f561228faf49257afe0009dfa8/$FILE/ATT1T96S.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf)
2. UNDP (2011) “Morocco Case Study”, http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/democratic-governance/public_administration/gepa2.html

<p>3. UNIFEM (2007) “Gender Responsive Budgeting Integrated in Budget Reform: Highlights of Best Practice from Morocco”, http://www.unwomen.org/~media/Headquarters/Media/Publications/UNIFEM/UNIFEMWorkgrboverview.pdf</p>	<p>作成日： 2016年4月27日</p>
---	------------------------

<教育分野：政策および制度におけるジェンダー主流化の現状>

- モロッコ国の教育の質向上、及び女子教育と地方での教育環境改善には、複数の省庁が協働している：1) Ministry of National Education, Higher Education, Staff Training and Scientific Research、2) Ministry of Employment and Vocational Training、3) Ministry for Social Development, Family and Solidarity、4) Ministry of Justice、5) Ministry of Agriculture, Rural Development and Maritime Fisheries。(出典1)
- 2011年にモロッコ政府が採択した Governmental Agenda for Equality (2011-2015)では、優先課題の一つとして「資格となる質の高い教育システムにおける男子・女子の公平かつ平等なアクセス」を掲げている。(出典2)
- モロッコ政府は、教育の普及（地域間のアクセス解消）や質の向上を図るために、2009年より「教育緊急計画（Programme d’ Urgence。以下、PU）」（2009-2012）を実施してきた。PUは4つの改革目標（①基礎教育の完全普及、②ポスト基礎教育、③教育システムの改善、④資源の動員と有効活用）と26の支援策から構成される。その後、2013年3月には、PUに続く新たな教育セクターの開発政策である「中期開発計画2013-2016」（Plan d’ Action a Moyen Terme 2013-2016：PAMT）が策定され、実施されている。PAMTでは、5つの改革目標（①教育の機会、②教育の質、③教育施設、④ガバナンス（地方教育局のキャパシティ強化含む）、⑤人的資源）に基づき16の支援策が挙げられている。特に、教育へのアクセスにおいては、格差是正による地方女子の就学率の向上が言及されている。(出典3)

<p>出典</p>	<p>1. JICA (2007) “Morocco: Country Gender Profile”, http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/facbb3f561228faf49257afe0009dfa8/\$FILE/ATT1T96S.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf</p> <p>2. UNDP (2011) “Morocco Case Study”, http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/democratic-governance/public_administration/gepa2.html</p> <p>3. JICA、『事業事前評価表』、http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2014_1302691_1_s.pdf</p>
-----------	--

作成日： 2016年4月19日

<教育分野：ジェンダー主流化に係る関係機関>

機関名		備考（役職名など）
Ministry of Social Development, Family and Solidarity		女性の権利の促進及び保護を担当。
出典	1. UNICEF (2011) “MOROCCO MENA Gender Equality Profile Status of Girls and Women in the Middle East and North Africa”, http://www.unicef.org/gender/files/Morroco-Gender-Eqaulity-Profile-2011.pdf	
		作成日： 2016年4月27日

2. 教育分野：JICA の支援状況

<概要>

モロッコに対する日本の経済協力は、「バランスの取れた発展と中東・北アフリカ地域の安定化への貢献」を基本方針としており、地域的・社会的格差の是正の取組を支援するとともに、安定的な経済運営に基づいた持続的な経済成長の実現を支援する。重点分野の一つとして、「地域的・社会的格差の是正」を掲げ、地方農村部を対象とした教育や保健分野などの社会開発を支援するとともに、水資源分野などに関連する生活基盤整備を支援することを挙げている。（出典 1）近年、ジェンダー分類された JICA 教育案件としては、「公平な教育振興プロジェクト」と「基礎教育セクター支援事業」がある。（出典 2）		
出典	1. 外務省 (2014) 『国別データブック』、 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/kuni/14_databook/pdfs/04-11.pdf 『国別情報』、 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/africa/morocco/index.html 2. JICA (2008～2013) 『ジェンダー主流化推進年次報告書』、 http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument	
		作成日： 2016年4月19日

<案件例>

案件名（協力年度）	公平な教育振興プロジェクト（2013年～）
本案件は、主に（1）教育の質における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、（2）教育へのアクセス（小中学校	

就学率、女子就学率等)における格差に焦点を当て、それら格差を緩和する施策を地方教育委員会 (AREF) 自らが開発・実施できるような支援を、技術協力プロジェクトとして実施している。(出典 1) モロッコでは、従来の中央集権型行政モデルに効率性の面で問題があるという認識から、中央で行われてきた意思決定が州で行われ、更にその下の県レベル及び学校レベルのニーズが行政に反映されやすくなるよう、2009 年以降、教育における地方分権化を更に推進中である。しかし、政策が現場に浸透・改善をもたらすまでには至っておらず、特に前期中等教育のアクセス及び質において課題を抱えており、その一つとして、前期中等教育における特に女子就学率の都市部－農村部の格差の問題がある。本案件活動では、小中学校群が地域コミュニティと共に農村部の女子就学を促進する活動を実施する予定である。(出典 2)

- 出典 1. JICA、『国別取り組み』、<http://www.jica.go.jp/project/morocco/index.html>
 出典 2. JICA、『事業事前評価表』、http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2014_1302691_1_s.pdf

作成日： 2016 年 4 月 19 日

<案件リスト>

No.	協力年度		事業形態	案件名	ジェンダー分類*1	ジェンダー視点
	開始	終了				
1	2013	2016	技協	公平な教育振興プロジェクト	GI(S)	本事業では、小中学校群が地域コミュニティと共に農村部の女子就学を促進する活動を実施予定。
2	2013	2016	有償	基礎教育セクター支援事業	GI(S)	PU (「教育緊急計画」) 及び PAMT (Plan d'Action a Moyen Terme 2013-2016) においては教育指標のジェンダー格差是正が目的の一部となっている。また寮付中学校の建設により地方農村部の女子の就学向上が期待される。

- 出典 1. JICA (2008～2013) 『ジェンダー主流化推進年次報告書』、
<http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument>

作成日： 2016 年 4 月 19 日

*¹ ジェンダー分類：GI=ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件（Gender Informed）

GI(P)=ジェンダー平等政策・制度支援案件、女性を主な裨益対象とする案件（Gender Informed (Principal)）

GI(S)=ジェンダー活動統合案件（Gender Informed (Significant)）

3. 教育分野：他ドナーの支援状況

ドナー（1）	カナダ国際開発庁（Canadian International Development Agency: CIDA）
支援概要	CIDAは、「ジェンダー平等の推進」を横断的テーマの一つとして、すべての国際開発プログラム及び政策に組み入れている。モロッコにおけるカナダの国際開発プログラムは、カナダのNational Human Development Initiativeに沿っており、教育セクターを優先課題として位置付けている。教育改革及びコンピテンス基盤型アプローチ（教育システムの近代経済ニーズへの適合）の実施を通して、モロッコ国が子供及び若者に機会を提供できるように支援している。
案件例	<i>Support to School Management in Morocco (2011-2015)</i> 本プロジェクトは、モロッコの女子と男子の基礎教育の質の向上を目的としており、モロッコの教育システムの地方分権化及び分散化を教育機関（学校）レベルまで支援している。活動としては、次の4つのコンポーネントを含む：1）学校の戦略的行動計画の策定及び実施、2）校長の学校運営能力の強化、3）モロッコの教育省の人事担当のマネージャーの管理能力の強化（校長の選定及び評価）、4）学校の戦略的行動計画における男女間の平等の促進。また、見込まれる成果として、1）地方の学校開発における学校行政及びコミュニティの関与の強化、2）モロッコの教育システムの効率性の向上及び対応の改善、3）教育ステークホルダーが管理業務におけるジェンダー平等を含む優先活動を実施する能力の強化、が挙げられている。
出典	1. Government of Canada, “Global Affairs Canada: Morocco”, http://www.international.gc.ca/development-developpement/countries-pays/morocco-maroc.aspx?lang=eng 2. Government of Canada, “Project profile: Support to School Management in Morocco”, http://www.acdi-cida.gc.ca/cidaweb/cpo.nsf/vWebCSAZEn/91E53EB3995F8E168525770A00374920
	作成日： 2016年4月29日

4. SDG: ジェンダーと教育に関する目標およびターゲット

目標	ターゲット
<p>4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>4.1 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。</p> <p>4.2 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。</p> <p>4.3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。</p> <p>4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。</p> <p>4.6 2030年までに、すべての若者及び大多数（男女ともに）の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。</p> <p>4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p> <p>4.a 子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。</p> <p>4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術（ICT）、技術・工学・科学プログラ</p>

	ムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。 4.c 2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。
5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

5. 参考情報

ジェンダーと教育 (JICA 内の執務参考資料、他ドナーの資料)	
JICA、『JICA 事業におけるジェンダー主流化のための手引き【教育】』	ジェンダー平等・貧困削減室にて入手可能
ADB, “Gender Checklist: Education”	http://www.adb.org/publications/gender-checklist-education
UNICEF, “Operational Guidance on Gender Equality: Basic Education”	http://www.unicef.org/gender/files/BasicEducation_Layout_Web.pdf
World Bank (2008) “Girl's Education in 21 st Century: Gender Equality, Empowerment, and Economic Growth”	http://siteresources.worldbank.org/EDUCATION/Resources/278200-1099079877269/547664-1099080014368/DID_Girls_edu.pdf
モロッコにおけるジェンダー状況	
JICA (2007) “Country Gender Profile (Morocco)”	http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/facbb3f561228faf49257afe0009dfa8/\$FILE/ATT1T96S.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf

JICA (1998) 『国別ジェンダー情報整備調査報告書 (モロッコ)』	http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/facbb3f561228faf49257afe0009dfa8/\$FILE/ATT61LJB.pdf/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E7%89%88%201998.pdf
OECD, “Morocco Country Gender Profile. Social Institutions & Gender Index”	http://www.genderindex.org/sites/default/files/datasheets/MA.pdf
UNDP (2011) “Morocco Case Study”	http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/democratic-governance/public_administration/gepa2.html
UNICEF (2011) “MOROCCO MENA Gender Equality Profile Status of Girls and Women in the Middle East and North Africa”	http://www.unicef.org/gender/files/Morocco-Gender-Eqaulity-Profile-2011.pdf
World Bank (2015) “Morocco Mind the Gap Empowering women for a more open, inclusive and prosperous society”	http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2015/06/30/090224b082fabf61/1_0/Rendered/PDF/Morocco000mind0d0prosperous0society.pdf
モロッコの教育分野における調査報告書、良事例など	
AfDB (2013) “Analysis of the education and training sector”	http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/Morocco - Analysis of the Education and Training Sector.pdf
作成日 : 2016年4月19日	

6. その他、現地調査で得られた情報

作成日 :